

令和 5 年取扱量 史上 2 位の好調

雄武漁業協同組合の通常総会が3月13日（水）に開催され、令和5年事業報告と令和6年事業計画が承認されました。

令和5年は主力のホタテ漁が水揚量22,607 t と計画を上回る結果となったほか、多くの漁で計画を上回る結果となり、令和4年に次ぐ史上2位の取扱量となりました。なお、令和6年はホタテ漁の水揚量を18,000 t と計画しています。



長谷川代表理事組合長による挨拶（雄武漁協提供）

令和 6 年海明け 漁期スタート！

オホーツク海の毛ガニ漁が3月15日から順次開幕し、雄武町では16日から水揚げされています。3月後半に時期外れの流水接岸もありましたが、4月末時点での漁獲量は58.9 t（前年同時期比152%）となっており、前年を大きく上回る状況となっています。

ホタテ漁場造成は3月9日から開始し、流水接岸の影響を受けながらも、4月末時点での漁獲量は1,327 t（82%）で推移しています。

ニシンは前年に引き続き好調で、4月末時点で漁獲量195 t（189%）となった

ほか、タコについても前年同時期比で2倍以上の漁獲量となるなど順調な滑り出しとなり、今後の豊漁が期待されます。



水揚げされるニシン（雄武町観光協会提供）

雄武産ホタテ 道内外で魅了

令和5年8月から開始された諸外国による日本産水産物の輸入停止措置の影響により、雄武町内でもホタテ製品在庫の滞留が発生しました。これを受けて、町は滞留の解消を図るため、関係団体等の協力を得て、町民全世帯に対して冷凍ホタテ貝柱 2kg を無償配布したほか、町内小中学校と、友好自治体である佐賀県武雄市・栃木県益子町小中学校の学校給食へのホタテ無償提供を行い、ホタテフライや味噌チーズ焼き・アヒージョ風など、様々な形で振る舞われるホタテの献立に児童生徒は舌鼓を打っていました。道内外でのイベント出店では雄武産ホタテを産直価格で販売し、早期完売・追加仕入れが行われるなど、大盛況となりました。また、町内飲食店でホタテを使用したメニューを提供していただく「食べて応援！おうむホタテキャンペーン」が実施され、地産地消でホタテの消費が図られました。



【マリンビジョンとは】

活力ある水産業や漁村の将来像を実現するため、水産物の安定供給体制や環境保全と循環型社会の構築、漁村地域の総合的な振興を目指す将来ビジョンのことです。雄武町では平成17年度から取組を進めています。



【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

TEL 0158-84-2121 FAX 0158-84-2844

E-mail suisan@town.oumu.hokkaido.jp